【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和6年2月14日(2024.2.14)

【公開番号】特開2022-141825(P2022-141825A)
【公開日】令和4年9月29日(2022.9.29)
【年通号数】公開公報(特許)2022-179
【出願番号】特願2022-114951(P2022-114951)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｆ 40/50(2020.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｆ 40/50

【手続補正書】
【提出日】令和6年2月5日(2024.2.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エアロゾル生成装置において、
バッテリと、
前記エアロゾル生成装置の収容空間に挿入されたエアロゾル生成物品に可変磁場を発生させる誘導コイルと、
前記バッテリの電力を用いて前記誘導コイルへの電力供給を制御する第１制御回路と、
前記第１制御回路とＩ２Ｃ(Ｉｎｔｅｒ－Ｉｎｔｅｇｒａｔｅｄ Ｃｉｒｃｕｉｔ)、ＵＡＲＴ(Ｕｎｉｖｅｒｓａｌ Ａｓｙｎｃｈｒｏｎｏｕｓ Ｒｅｃｅｉｖｅｒ Ｔｒａｎｓｍｉｔｔｅｒ)及びＳＰＩ(Ｓｅｒｉａｌ Ｐｅｒｉｐｈｅｒａｌ Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ)のうち少なくとも１つの通信手段を介して通信し、前記エアロゾル生成物品が前記収容空間に挿入された場合、前記第１制御回路に前記通信手段を介して加熱制御命令を伝送する第２制御回路と、を含み、
前記第２制御回路は、
前記第１制御回路から生成されたパラメータ、前記第２制御回路から生成されたパラメータ及び前記第１制御回路と前記第２制御回路のうち少なくとも１つに対する電力供給如何を示すパラメータのうち少なくとも１つに基づいて前記エアロゾル生成装置の異常動作を判断する、エアロゾル生成装置。
【請求項２】
前記第１制御回路は、
前記第２制御回路から生成されたパラメータに基づいて、前記第２制御回路が異常動作有無を判断する、請求項１に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項３】
前記第１制御回路は、
前記第２制御回路から生成されたパラメータと、前記第１制御回路から生成されたパラメータとを比較し、
前記第２制御回路から生成されたパラメータと前記第１制御回路から生成されたパラメータがマッチングされる場合、前記第２制御回路が正常動作していると判断する、請求項２に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項４】

前記第１制御回路は、
前記第２制御回路から生成されたパラメータと、前記第１制御回路から生成されたパラメータがマッチングされない場合、前記第２制御回路が異常動作していると判断する、請求項３に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項５】
前記第１制御回路は、前記第２制御回路から生成されたパラメータを既設定の時間内に受信できない場合、前記第２制御回路が異常動作していると判断する、請求項２に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項６】
前記第２制御回路及び前記第１制御回路から生成されるパラメータは、加熱部の現在温度値、前記第１制御回路が制御しようとする温度の目標値、前記加熱部の動作持続時間、前記第２制御回路と前記第１制御回路との通信回数を累積するカウントを含む、請求項２に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項７】
前記第１制御回路は、
前記可変磁場によって前記エアロゾル生成物品が加熱される持続時間を測定するタイマー(ｔｉｍｅｒ)をさらに含み、
前記第２制御回路が異常動作していると判断される場合、前記タイマーによって測定された前記持続時間が臨界値を超過することにより、前記誘導コイルへの電力供給を遮断する、請求項１に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項８】
前記第２制御回路は、
前記第１制御回路から生成されたパラメータがＮＡＣＫ（Ｎｅｇａｔｉｖｅ　Ａｃｋｎｏｗｌｅｄｇｅ）信号に対応する場合、前記第２制御回路と前記第１制御回路との間の通信エラーが発生したと判断する、請求項１に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項９】
前記第２制御回路は、
前記第１制御回路が異常動作していると判断される場合、前記第１制御回路をリセットする、請求項８に記載のエアロゾル生成装置。
【請求項１０】
視覚情報の出力が可能なディスプレイをさらに含み、
前記第２制御回路は、
前記第２制御回路が前記エアロゾル生成装置の異常動作を判断する場合、前記ディスプレイに前記異常動作に対応する状態を示すお知らせを出力する、請求項８に記載のエアロゾル生成装置。